

基準作りで発言力向上



E&Y会長兼CEO
ターリー氏

世界経営者会議

（CEO）は26日、日本
経済新聞の取材に対し
「世界経営者会議」（主
催：日本経済新聞社、ス
イスのビジネススクール
E&Y会長兼CEO
ターリー氏
と述べ、日本の積極的な
対応に期待を示した。――
問一答は以下の通り。――

日本の産業界から
業が滞りがちとも聞く。

（CEO）は26日、日本
調達コストも安くなるな
客の声などを聞くと(時
ど利益が上回る。日本の
価会計の範囲が広い)米
国全体で考えても、IF
RS採用国になるとで
基準への不満が強く、国
際基準を支持する声が多
い。このため、いずれか
型ロボットが大阪に凱旋
一足早く帰国。商談会で
高まるなどの)利益を享
の段階で2つの基準の擦
り合わせは進むと楽観的
受できるだろう

――米国会計基準とI
FRSの違いをなくす作
業が滞りがちとも聞く。

（CEO）は26日、日本
調達コストも安くなるな
客の声などを聞くと(時
ど利益が上回る。日本の
価会計の範囲が広い)米
国全体で考えても、IF
RS採用国になるとで
基準への不満が強く、国
際基準を支持する声が多
い。このため、いずれか
型ロボットが大阪に凱旋
一足早く帰国。商談会で
高まるなどの)利益を享
の段階で2つの基準の擦
り合わせは進むと楽観的
の中小企業15社が共同製
作した壁を上り下りする
夢ロボは丸顔で銀色の
コートが生む新しい働き
方を掲載中。

上海国際博覧会（上海
万博）で脚光を浴びた人
予備機で、万博閉幕前に
この日公開されたのは
慶應大教授の中村伊知
彦（60）が「ほかにない」
と語る。日本ではネット
インフラを使いこなす消
費世代が育つ。危機を好
機に変えて成長をつかむ
気概と知恵が企業に求め
られる。

写 Day

所2010】で初めて國
内公開された。

この日公開されたのは
慶應大教授の中村伊知
彦（60）が「ほかにない」
と語る。日本ではネット
インフラを使いこなす消
費世代が育つ。危機を好
機に変えて成長をつかむ
気概と知恵が企業に求め
られる。

11面に続く

第3部 冒険者たち ③

と企画が出来上がる。6年には1億人を割る推
計も出るが、経営学者の

(50)は「お金をかけず
に、最速5分でプランを
作れるのが強み」という。
「減少は「イノベーションの機会」と説いた。約
300兆円にのぼる個人

訪日外国人数も期待通り
に伸びないが、ネットで
取り扱う施設数は対面販
売の2倍に増え、需要獲
得の柱になってきた。

で始まっている。

「だんじり祭りに車で

など余った土地をサイト
に募り、スポット利用し
たい需要と結びつける。

用料の35%を軒先が受け
取る仕組みだ。社長の西
浦明子（41）は「どんな
シャールレンディング」と
呼ぶサービスだ。貸し手
と借り手をネットで仲
介。貸し手の投資家は銀
行預金より高利回りが期
待でき、教育資金などの
品や公有財産などの「訳
あり品」を扱う「官公舎
オーナーション」。指揮す
る鈴木昭紀（40）は「鉄
人28号のプラモモデルから
消防車まで、値が付かない
ものはほとんどない」

と胸を張る。東京都が04

年から始め、今や全自治
体の半数が参加。差し押
さえ品の落札率は平均8

割税収増に役買う。

新市場創造は金融分野

（関連記事3面に）

ネットのチカラ

み、金型の国内生産額（昨
年は3159億円）は5
年間で約23%減少。「こ
のままではじり貧だ」。

射出成型金型メーカー、
モルテック（川崎市）社
長の松井宏一（49）はイ
ンターネットによる独自
商品の開発に活路を見い
だすこととした。

「よし、このデザイン
でいこう」。専修大学生
田キャンパスの一室。集
まつた学生19人を前に、
松井は決断した。手にし
た図案は、粒状のガムな
どを入れる小型ケースと

若者の感性とツイッター
を駆使してつくり上げる
同社初の小売品だ。

ネットで潜在需要を地
道に掘り起こすことで、
世の中には「未来から
の設計図」を手にした。
12月にもネット販売する
予定で、川崎市も販路開
拓に協力するという。専
修大とのプロジェクトは

12月にもネット販売する

が、「あるぶトラベル」の
ある一泊500円の民宿

提供する部屋や価格、サ

人減少時代に突入し

場、ビルの谷間、売り地

個人の発想、商機と直結

1ドル80円近い円高が
金型業界を窮屈に追い込
んでいる。発注元の大手
企業の海外生産移管が進

み、金型の国内生産額（昨
年は3159億円）は5
年間で約23%減少。「こ
のままではじり貧だ」。

射出成型金型メーカー、
モルテック（川崎市）社
長の松井宏一（49）はイ
ンターネットによる独自
商品の開発に活路を見い
だすこととした。

「よし、このデザイン
でいこう」。専修大学生
田キャンパスの一室。集
まつた学生19人を前に、
松井は決断した。手にし
た図案は、粒状のガムな
どを入れる小型ケースと

若者の感性とツイッター
を駆使してつくり上げる
同社初の小売品だ。

ネットで潜在需要を地
道に掘り起こすことで、
世の中には「未来から
の設計図」を手にした。
12月にもネット販売する

が、「あるぶトラベル」の
ある一泊500円の民宿

提供する部屋や価格、サ

人減少時代に突入し

場、ビルの谷間、売り地

見えない需要、掘り起こす

製品デザインについて
議論する松井社長（川崎
市の専修大）

